

東日本大震災に学ぶ三重県の防災・減災に求められる視座

2023 年 10 月 6 日（金） 13:30-17:00

東日本大震災から 10 年が過ぎ、福島県を除く多くの被災地では復興事業も完了しつつある。10 年の復興まちづくりが伝える教訓とは何か？

高い確率で予想されている南海トラフ地震では、東日本大震災以上の津波被害が発生すると推測されており、全国各地では来たる災害に備えて事前復興に取り組む自治体が増えてきている。各地で事前復興への意識向上、防災・減災対策（復興事前準備）の取り組みが模索されているが、様々な分野に関連する幅広い課題であるために防災・減災・事前復興の取り組みはまだ十分な広がりを見せていない。今回は、三重県において、東日本大震災の復興事例の成果と課題を報告するとともに、三重県内自治体の事例をもとに現在の課題と今後について東日本大震災からの復興を踏まえて意見交換を行う。

- 共催** : 三重県・三重大学 みえ防災・減災センター, 日本都市計画学会中部支部
日本建築学会 住まい・まちづくり支援建築会議復興住まい・まちづくり部会
- 会場** : 三重大学数理・データサイエンス館 (CeMDS) 2 階レクチャールームおよびオンライン
- 参加費** : 無料
- 参加方法** : 対面 (三重県職員および三重県内市町職員) または zoom ウェビナー
- 申込み** : 建築学会 Web ページ
<https://www.aij.or.jp/event/detail.html?productId=684985>

プログラム

13:30 開会挨拶

浅野 純一郎

(CPIJ 中部支部支部長, 豊橋技術科学大学)

13:35 基調講演

北原 啓司 (弘前大学)

東日本大震災からの復興の全体像

ーポスト復興を平時の都市計画につなげる事前復興ー

14:15 話題提供

牧 紀男 (京都大学)

西日本地域における南海トラフ巨大地震への対応

14:45 休憩

14:55 事例報告

事例① 三重県と三重大学の協働取り組み

浅野 聡 (國學院大学) / 田畑 衛 (みえ防災・減災センター)

事例② 三重県の取組み 1 小野 明子 (三重県都市政策課)

事例③ 三重県の取組み 2 稲葉 崇 (三重県防災対策総務課)

事例④ 伊勢市の取組み 青山 憲太郎 (伊勢市都市計画課)

事例⑤ 南伊勢町の取組み 濱地 智視 (南伊勢町防災安全課)

15:55 パネルディスカッション

東日本大震災の視点から事前復興計画最前線を俯瞰する

コーディネーター: 浅野 聡 (國學院大学)

パネリスト: 北原 啓司 (前掲), 姥浦 道生 (東北大学)

三宅 諭 (復興住まい・まちづくり部会長, 三重大学)

事例報告登壇者

16:55 閉会挨拶

三宅 諭 (前掲)

司会進行: 萩原 拓也 (名城大学)